長野県 富士見町

新井戸尻考古館 建設事業 (考古館建設と遺跡群の保存活用)





富士を望む八ヶ岳山麓のまち



ゆたかな自然の 高原のまち

現状の課題

新井戸尻考古館 建設事業 (考古館建設と遺跡群の保存活用)





中心地なのにで文文化の

冬は極寒の展示室内







- ・重要文化財や長野県宝を含む縄文遺産を守り、伝えたい
- ・井戸尻遺跡をはじめとする縄文遺跡を保存し、活用したい
- ・周辺の自然環境や景観を守る、交流の拠点にしたい



新井戸尻考古館の建設が不可欠であり 縄文遺産の保存と活用が重要









新井戸尻考古館建設事業 「おらあとう(おれたちの)」井戸尻考古館

①「我々はどこから来たのか」・・・ 過去を学ぶ "調査・研究施設"

②「我々は何者なのか」・・・・・・ 現在を知る "考古地域博物館"

③「我々はどこへ行くのか」・・・・・ 未来を考える "学習・発信施設"

④「この地に生きる」・・・・・・・・・ 地域を元気にする "交流・観光施設"

- ◆史跡整備と周辺環境保護
 - ・井戸尻遺跡群の史跡指定と整備・・縄文に学ぶ、周辺の自然環境保護の拠点として

長野県 富士見町

新井戸尻考古館 建設事業 (考古館建設と遺跡群の保存活用)



★事業期間(予定)

令和7年 設計

8年~ 建築工事

11年 開館

その後・・・ 遺跡公園整備

★事業規模

総額10億円で整備を想定

★寄附金の活用例(主として展示室)

・展示ケース 5,000万円(10基)

·免振台 800万円(5基)

・交流スペース 2,000万円

·公園整備 9,000万円

本プロジェクトへのご支援は 10万円からご寄附が可能!

長野県 富士見町

新井戸尻考古館 建設事業 (考古館建設と遺跡群の保存活用)



貴重な縄文遺産を守り 未来を生きる知恵を学ぶ



地域を元気にする "縄文" 地域に役立つ "井戸尻"



ゆたかな自然、周辺環境を守る

企業の皆さま

皆さまのお持ちの技術や知識を活かしてみませんか?

いま<mark>縄文(JOMON)</mark>は、国内外で注目されています。 争いのない世の中や防災、環境問題を考えるとき、 縄文は多くのヒントを与えてくれるはず。

- ・大自然の中で生きる・水も、空気も、太陽も
- ・旬を楽しむ・1万年以上も戦争のなかった時代
- ・縄文人が住んでいた場所

商品開発や事業運営のコンセプトとして 縄文文化を 活用し、発信するのは「いま」です!

連携イメージとメリット

- ・貴社のミニ企画展開催(会社や商品、技術開発の歴史や伝統など)
- ・共同イベントの開催 (ワークショップ、アート作品作りなど)
- ・企業研修などの受入れ (ご案内や体験などの受入れ)
- ・新館での顕彰 ・ホームページなどでのご紹介
- ・町長より感謝状の贈呈

≪しそちゃん(始祖) 積み木≫ 商工会で作成し、新たに お子様が出生した世帯に プレゼントする事業を実施 しています。



ご寄附検討の参考に "井戸尻考古館見学ツアー"を計画しています!! 詳細はブースにて・・・

<問い合わせ先> 長野県 諏訪郡 富士見町 総務課 企画統計係

電話: 0266-62-9332

E-mail: kikakutoukei@town.fujimi.lg.jp

〈事業内容〉 井戸尻考古館 館長:小松 隆史

電話: 0266-64-2044

E-mail: idojiri@town.fujimi.lg.jp

館長のインスタグラムを是非ご覧ください!!→

